

第1回柵津湯の丸バイパス構想検討会を開催しました

活動報告

令和8年10月2日に「第1回柵津湯の丸バイパス構想検討会」を柵津公民館で開催しました。

今回は具体的な検討に入る前に「柵津地区（サンライン以北）の道路現況はどのようなものか」と題して上田建設事務所にご説明いただきました。



上田建設事務所による説明の様子▲

柵津地区 浅間サンライン以北の現況について

柵津地区は南北に東御孺恋線、東西に浅間サンラインが通っており、朝夕の通勤時は交通量が増えます。そのため、小学校や診療所などの要配慮施設が並ぶ生活道路に先を急ぐ車が流入する懸念があります。

また近年湯の丸のGMOアスリートパークやワイナリーといった施設の誕生に伴い、県外からの交流人口が増加することが見込まれます。東部湯の丸インターの周辺は道路が整備されていますが、少し中に入ると昔ながらの集落があり、細い

道路も多く存在します。

危険箇所や渋滞状況など、現状課題を把握していただき、それらの解消や地域資源の活用に将来どのような機能の道路が柵津地域に必要なのか。求める役割によって道路も変わってきますので、そのあたりの整理していただきながら今後の検討を進めていただければと思います。

～上田建設事務所説明より抜粋～

今後の予定

次回は年明けの1月頃開催を予定しております。

♪MEMO♪主要地方道ってなに？

県道の中でも比較的広く地域をつなぐ道路のことです。市内だと東御孺恋線（94号）の他、真田東部線（4号）や丸子東部インター線（81号）など5路線がありますね。番号は2桁までなので、もし道に迷ったら2桁番号の県道をたどれば別の地域に出られる、といった目安になる、かも？

まあ、カーナビって優秀ですよ。

～事務局より～

今回は検討会というより勉強の意味合いが強い会となりました。

同時期に開催された柵津の地域づくり懇談会で、柵津湯の丸バイパス構想が懇談テーマとして扱われたことから、地域の方も関心を持たれているのだと思います。生活と道路は密接に関わっているので、様々なご意見をお聞かせいただきながら検討を重ねてまいりたいと思います。